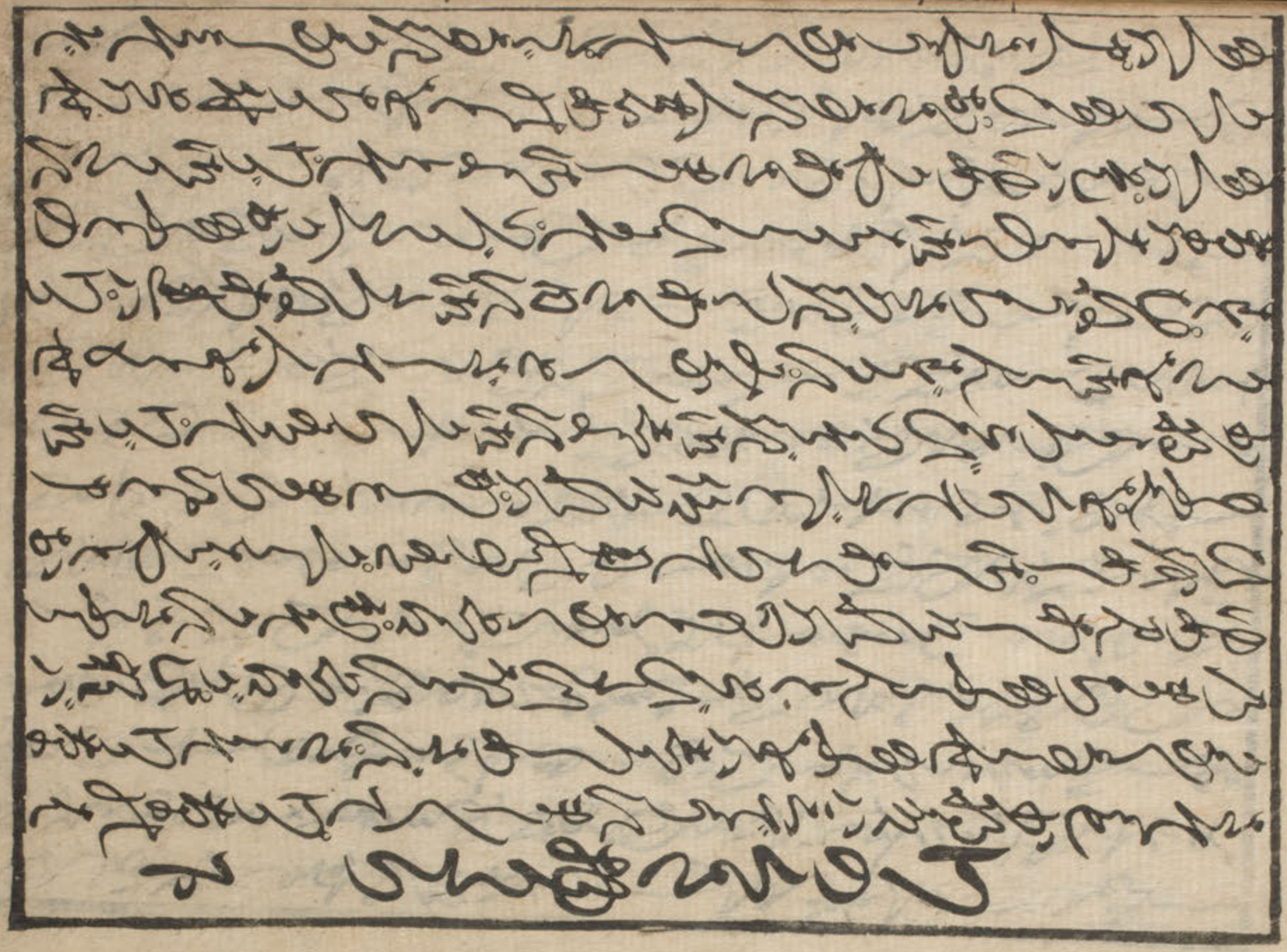
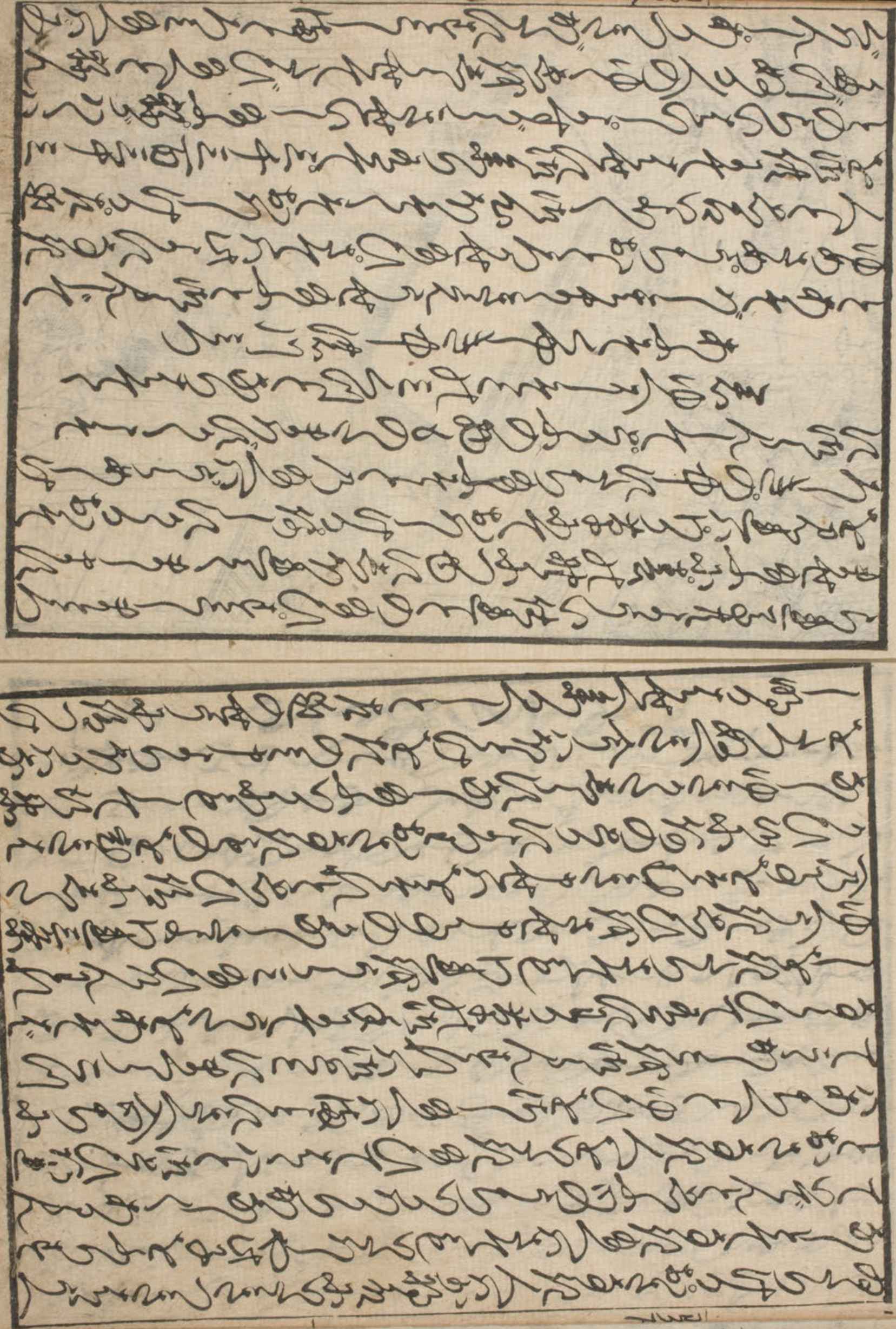
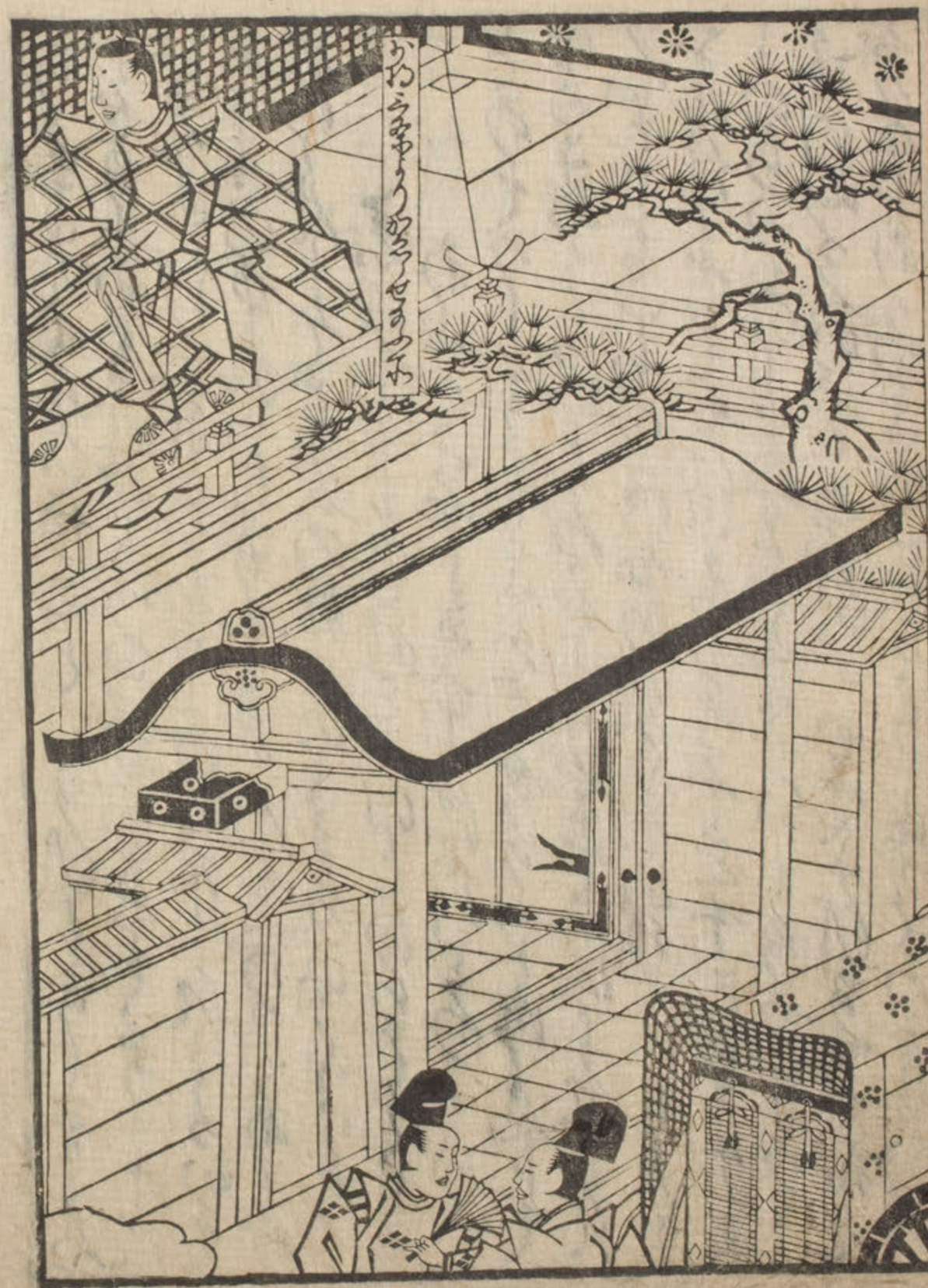
易学相源

下



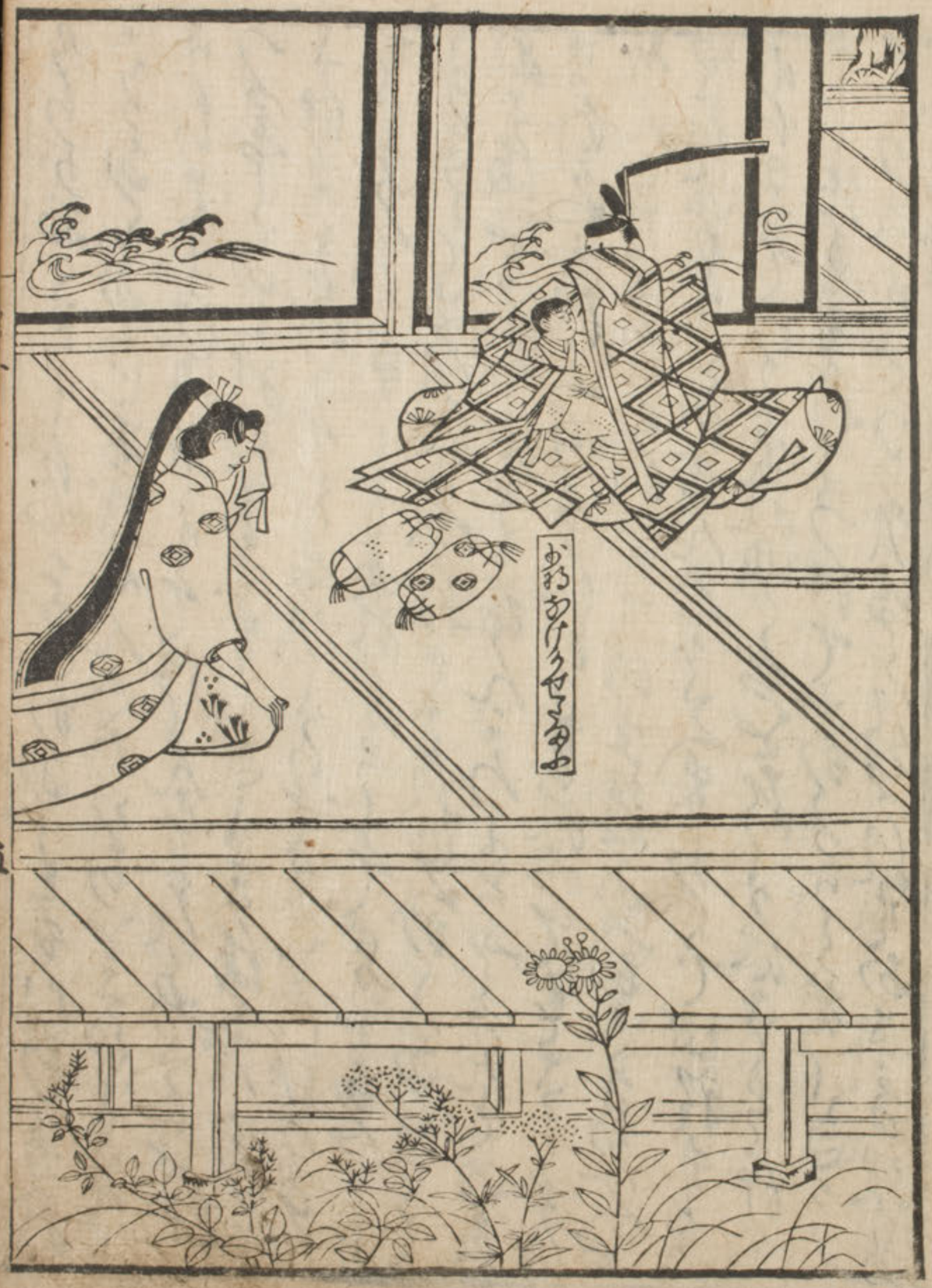


うるさのあるとり

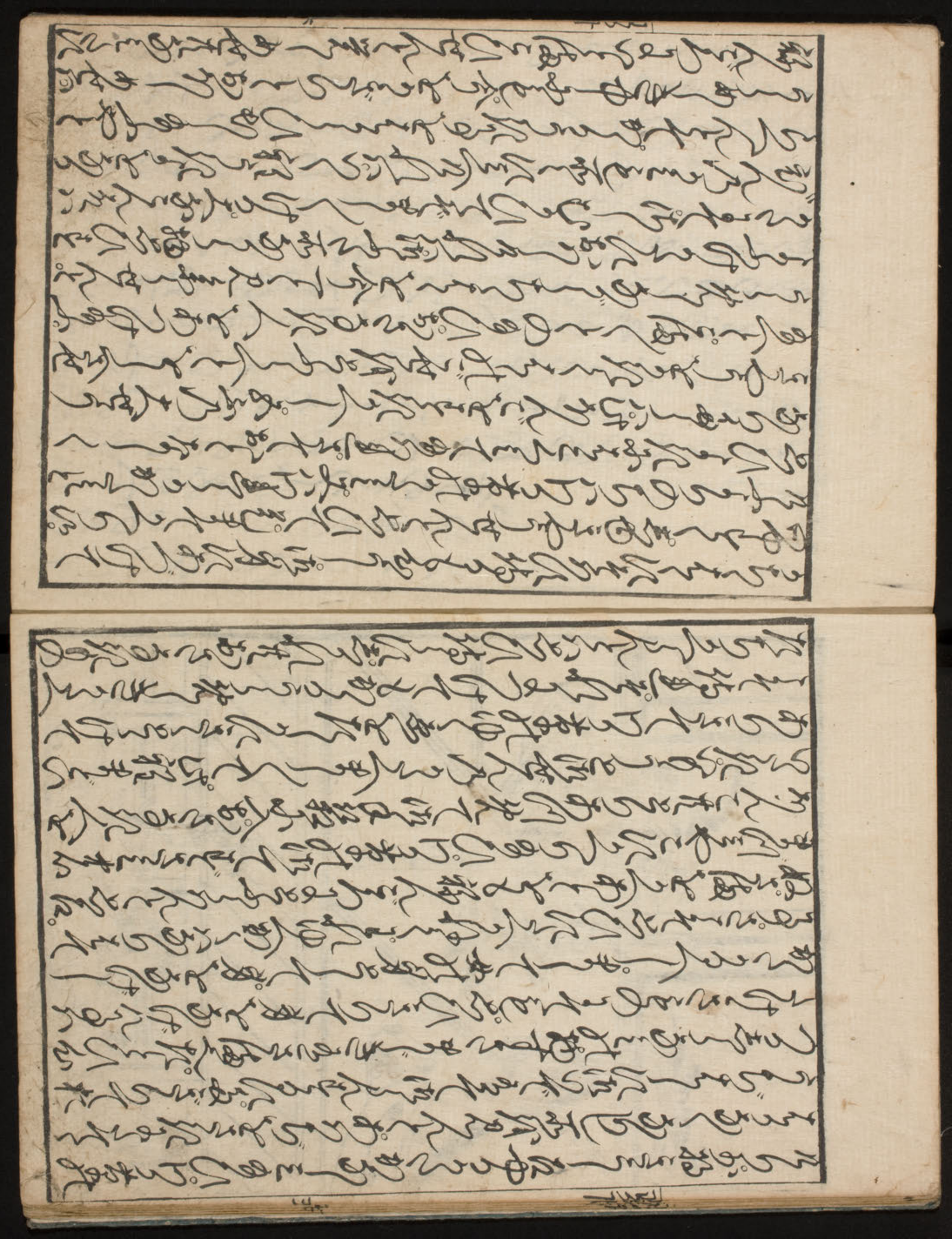

かわらうるさうかてせるうた

ちうのうちにうつりぬれみこそおんどう
ぶつのうんぷうこうとうくしてゆくとも今はは
ゆくえもしらぬそらのくもゐにとそ
　　きくにあはんとおもひしかとも
　　あふことのかたきはかりとなりぬる
とあるたかどのゆめさえうらゆめあさえうら
おもひさのつよかりしかとあせあれらさそへ
おだんまそこのこもやはとはるるれんとはるるを
はそそとおだりつのうちにはるをとはるて
上人よりめんまつのうちの世のなかにあらきるれ
る年のくるんぷうとのくまんぷひ
つとあるくるんぷうそこのれんぷひ
おりく海ちはせひかなもやとるれちのらるを
ふらのひてのうめもの

ちはくさ海とうんとくのひとつきあるせて
おりうれせのりやてぐいだりれりはけうるを
しとあるうのんぷおるふしぎのうひとあるぷ
何とはふまるせひそくとひのんぷおるかんん
とをいでしもそひとうせるれるかおはんを
れおるはりまおりるたをまるびをかんは
おりりびはうくるうぶおれだちに
あさゆふおまるおとたてまる
みちりまるんとはるうん月のうやこく
よあるんのうらに
あけさひて今はそれりひるまんくん
うれのちれしのようんりあるすか
とりまれはるそうれるんとはんんて伝乃
まるれるとをしるんぷまるかもゆん



とたくさんいろいろもちしそうびきのふぞいさうにき。
もしやゆくゑもしれつねまづうめきらくもて
あもいとあとひとびとのおさるれものとものうとに
あのりんとうたうのふぐうちとはたとをを
ゑうたくさぐうれのりあうてなよ命乃
なぐうてかうれうひとせんうらうえりあに
ひうのとかあしむとおうりぐうこもときてまひ。
たゑよはあんるひゃせとはうれふおぐうを屋
ゑうんとたちおのるゑとづけぞうつうとうて
るあつさるれさけぬおるゑるうらあうまひ。
うふくとれうまづうなうさにひせびておを
ゆさひゆうゑてあうーまれへまふめ
ぐうあひひふりまれうゑれうさ屋ゑて。
今はゆあれさうれうとうれてぐうと



[illegible]

くらをぷそれくらうこ
さうだうまこぷもめく
ておつくらぷおごうん
まくしたくぷ者しとろねまひぷそせあてわ
ふつしれあひこあ
まつぷくうのへ
さうめへ吉井てち
らへ吉井とづねへ
はこうすしたこ
たくれいをかうへ
まそおつけぷあうぜひまさせまひてはよ
まへたんまくしたまものからひくしれやうみ
こへまふ大あこんへはこ
うこんふこうまあ

まつのあるかぜのうちにあこるひのふれをはなれ
やれかぜのまつのあるかぜのうちにあこるひのさはこびあとか
つまのんのまつのあるかぜのうちにあこるひのさはこびあとか
そうなるかぜのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
なれはてしひのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
らふかぜのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
しんでなげしれもまてはいそぐうに
ふひのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
のはしのあんまるへかぜのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
そそそまちわのつのはしのあんまるへかぜのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
とのとはたはれかぜのうちにあこるひのさはこびあとかぜ
せまへとうちはとはとはと

とさ屋こびらまんもわさまりやぞあくみびそやと
ふらぞさくんおうたうとそうにそうに二人もものぞその時
大あくんとのはゆめにがねつぞうかくくそ
こくらくれもくそうそれしせみは
あまそわくらすくそえんの純
くとのておまふとぞらくめんくきのふとしくきお
しみびまくそはくんくそうもおくろくかくろ
とんまつぞかねはまくくはれくやはは
もやくくみくそくらまぞ今ふまぞくくなうせんぞもみく
くまわくもあんくくわるくくこのぞはれ乃くくゆくろ
ぞはまびくふくくうまそはぞうくくくやこみていう
ちくうねまくんまはまくまづはうくうまくくしてはん
ふくくふわそうくくそはぞくくはいくれのせくやこ
はくくうまひくうぞくくれくくとくくくはん

ひさかたのあまのかぐやまのかぐはしき
あをによしなるのをのへのはるのの
さよとそこがれまつぶかきこゝろをば
きりうるはせぬるかなとそこたへける
つまとそはさはとうへのぶさまれるも用くすと
ぞあのこゝろもしらぬ者はのくるよ人まつぶかう殺
あかちのつゆのなさはとうへのふ〳〵寺まふまちわ茅
はるかいとゝ物んとゝろよそつゝひらりぶそかねへたゝ
吉野のおくとあびもくぶてうこゝとあぐらぶのさ風
物さひしくふさもれ物もあわまはさうへるれへ
わさうれ乃身はたゝひとゝとゝひとゝ
ひあもあるゝとゝはまれたゝやゝ
とすぐあのひくぶまのふ多りまひて後の世代
いのうまひぶそかんゝうはつゝやゝまひぶゝすぐ秋

ゆへ身とうゝうひゝへの後のうまゝ後とぶゝんふ
志ゝ世ゝまゝゝ物会ゝてすゝ後ゝゝまゝゝ上
へあまゝぐゝのねとれゝゝまゝのぶゝふ物ゝそおゝゝ
ゝさんふゝのゝまへ物ゝゝそうゝひまゝゝ
つゝうゝ者へふゝゝあゝゝとゝあゝゝひまふふゝうゝ
あんゝどせれゝうぶとんゝうぜんあれおゝゝまゝと
ひひてゝうねゝうゝれあゝゝうまふゝゝゝゝんゝそゝゆあ
ゝあねゝさゝんゝひゝゝあゝうまふゝゝ
弾れゝあゝうゝふゝうあゝゝんゝゝせゝぶゝうゝ
ひゝうゝゝてゝひゝあゝゝうゝとゝのゝんゝそゝおゝ
むまへゝ三ゝ世ゝゝゝ三ゝのゝゝゝぶゝあふゝうゝぶゝうゝとゝひ
まふゝうんゝそゝれゝうふゝひゝゝさゝぶゝんゝゝみれゝ物ゝゝさゝい
ゝうゝうゝりゝんゝゝれゝゝれゝさゝんゝ人ゝまゝゝゝゝゝゝひ
ゝうゝひのゝゝゝあゝゝゝれゝりゝぶそゝりゝ者れひあ志

ぢうナてうちゃくせりひしやうの法ものがたりとの
むすめ花の御ぜんにわかれわそうもとうりん
こたいの身とゝまるさんしゆゆかんそのそ
のちにもゝ〳〵父の位をたゞ〳〵ぜんぶのたせう
きうとうとうにてゝまゝぶゆめかちうん乃内
らりたうとおがくて法ものがたりて
わさなひつゝうゝひつうひつて
今そもちもれうゝよひまる
とうりにさうみゝびゆきまゝとゝけん
てゆめあそ法ものがたりぢうかぢ山ゆ
とおぜぜんゝ法つゝわ道ぶて今ぶうひまゝ
つとおがゝうとぶゝびぶゝぢうあぶて
吉野ゆふゝねりあゝもゝびもゝとつふゝ
もりそゝてぜぶうんとの十郎んりうて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

110X
436
3